

|   |            |                  |               |         |
|---|------------|------------------|---------------|---------|
| 担当教員<br>鈴木紀、日高真吾、宇田川妙子、丹羽典生   |            |                  |               |         |
| 開始時期<br>後期  | 開講期間<br>半期 | 科目番号<br>90DCSg02 | 授業形態<br>講義・演習 | 単位<br>2 |
| キーワード<br>比較文化・論文  |            | 対象学年<br>1 学年     | 聴講・参加資格<br>専攻 |         |
| 科目名称：日本語<br>比較文化学基礎演習Ⅱ  |            |                  |               |         |
| 科目名称：英語<br>Basic Seminar II (Comparative Studies)   |            |                  |               |         |
| 科目の概要：日本語<br>比較文化研究に関する基礎演習   |            |                  |               |         |
| 科目の概要：英語<br>Comparative Studies of Society and Culture  |            |                  |               |         |
| 科目の目的：<br>1 年生を対象とし、比較文化研究に関する基礎的な知識を養うとともに、博士論文作成のための調査の準備を行なう。<br>この演習は、「比較文化学基礎演習Ⅰ」（前期）と対をなし、前期と後期の1年を通して実施する。この演習の最終的な目標は、博士論文作成のための調査に関する課題や理論、調査方法を検討し、リサーチプロポーザルの作成を補助することである。 |            |                  |               |         |
| 学習成果・習得する技能や知識：<br>博士論文作成のための調査にかんする基礎的な知識を身につけ、その課題を検討し、十分な研究計画（リサーチプロポーザル）を作成することができるようになる。   |            |                  |               |         |
| 成績評価方法・基準：<br>授業への参加貢献度および発表時のレポートおよび発表内容による評価する。   |            |                  |               |         |
| 授業内容：<br>1. これまでの研究の報告（おもに修士論文研究と今後の研究課題について報告し、参加者と教員で検討する。）<br>2. テーマシリーズ（10のテーマに関して1回完結の講義を実施する。）<br>3. リサーチプロポーザルの発表（各自は、博士研究のためのリサーチプロポーザルを発表し、参加者と教員で検討する。）                     |            |                  |               |         |
| 日程：日本語<br>木曜 10:30 から 12:00   |            |                  |               |         |
| 実施場所：<br>国立民族学博物館大学院演習室   |            |                  |               |         |

|  |
|--|
| 使用言語：<br>日本語   |
| 準備学習：<br>とくに自身の発表の準備を行い、授業中、指摘された部分については事後に十分に検討し、リサーチプロポーザルに反映させること。指定した日に発表用レポートの提出を求める。 |
| 関連科目・履修条件：<br>本科目と同時に比較文化研究に関する基礎演習 I を受講すること。   |
| 教科書・必読書：<br>とくになし  |
| 参考書・その他の教材：<br>とくになし   |
| 備考：<br>とくになし   |